

きずな



苓北町は感染症対策は
大丈夫かあ？

だいじょうぶだあ～

議会でも話し合いが
あったから大丈夫よお

主な内容

- 臨時会 2～3
- 定例会 4～8
- 一般質問 9～13



町花「はまゆう」

議会日誌

※主なものを載せています



町木「ツバキ」

1月

- 6・10日 議会広報特別委員会
- 8日 長洲町議会運営委員会視察研修
受け入れ
- 20日 令和2年第1回議会臨時会・全員協議
会・議員全体会

2月

- 13日 令和2年第2回議会臨時会・全員協議
会
- 28日 議会運営委員会

3月

- 10～18日 令和2年第3回議会定例会
(13. 16. 17日は予算審査特別委員会・
14. 15日は休会)
- 10日 全員協議会
- 18・27日 議会広報特別委員会

4月

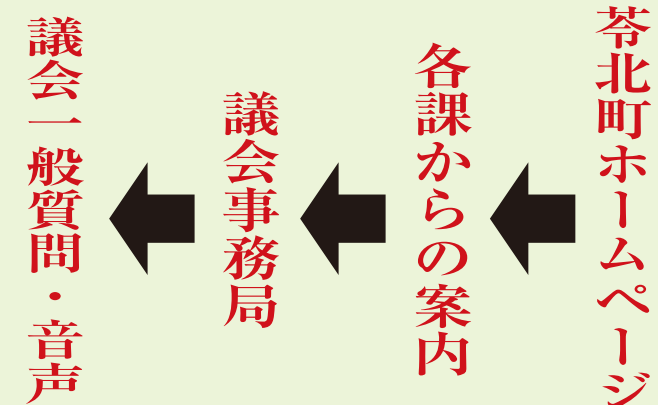
- 2・8日 議会広報特別委員会

次の定例会は 6月です。

- 1月臨時会の傍聴者は、**8人**
- 2月臨時会の傍聴者は、**13人**
- 3月定例会の傍聴者は、**65人**
でした。

議事録は『苓北町役場ホームページ』
[https://reihoku-kumamoto.jp/
gikai-gijiroku/](https://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/)
で閲覧できます。

“定例議会の一般質問が インターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音
放送にて聞けます。

編集後記

この頃の話題といえば、新型コロナウイルスばかりだと思う。今現在は、それだけの脅威が、この新型コロナウイルスにはあると思う。

とにかく、専用の薬がまだない。もちろんワクチンもない。それでいて、死者は世界中で4万人超も出ている。そんなウイルスが世界中で流行している。

たちが悪いのは、感染して、潜伏期間が4日から2週間ほどで、中には発病せずに回復する人もいるというではないか。それでは気づかずに感染を広げてしまう人まで出る可能性がある。早く、このウイルスの解明と、薬、ワクチンの開発を願う。

幸いにも、編集後記を記載している時点では、天草での感染確認はまだない。

このまま無事に過ごせる日々が続くことを願うばかりだ。

議会広報特別委員会

※として保存しましょう。

こんなことが決まりました!!

令和2年 第1回議会臨時会

開催日：1月20日

■請負契約締結

議案番号	事 件 名	結果
第1号	請負契約〔森林基幹道苓北天草線災害復旧工事（その1）〕の変更締結について	○

変更理由 掘削法面が緩やかになったことにより、掘削土量などの減による減額契約変更

契約金額	当 初	127,440,000円
	前々回変更	8,257,744円
	前 回 変 更	15,644,992円
	今 回 変 更	△3,420,200円
	合 計	147,922,536円

契約の相手方 苓北町都呂々916番地
前川建設株式会社

本案は、提案の根拠法令である地方自治法に違反している。それは、議会の議決を得ることなく、変更設計分に着工施工してある。この事は、議会無視である。この一連の行為は、議会無視イコール町民無視で町の行政を執行したこの違法行為を、町民の代表である議会は、無視することは出来ない。よって、本案に反対する。

原案に反対討論

請負契約変更(第1号)に伴う討論

賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(錦戸)は採決に加わらない)

議案番号	事 件 名	結果	表採決 賛成/反対	山口	野田	廣田	高戸	松本	石田	浜口	野崎	山本	倉田	田嶋	錦戸
第1号	請負契約〔森林基幹道苓北天草線災害復旧工事（その1）〕の変更締結について	可決	10:1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—

令和2年 第2回議会臨時会

開催日：2月13日

■令和元年度一般会計補正予算

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	備 考	結果
第2号	一般会計補正予算（第5号）	4,814,244	124,640	4,938,884	志岐集会所大規模改修費他	○

賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 ・ 欠 欠席 議長(錦戸)は採決に加わらない)

議案番号	事 件 名	結果	表採決 賛成/反対	山口	野田	廣田	高戸	松本	石田	浜口	野崎	山本	倉田	田嶋	錦戸
第2号	一般会計補正予算（第5号）	可決	5:5	○	○	○	●	●	●	●	●	欠	○	○	—

※可否同数のため、議長裁決により可決

■苓北町選挙管理委員及び補充員の選挙について

議会による指名推選

(任期・令和2年3月21日～令和6年3月20日)

選挙管理委員

氏 名	住 所
池崎 計介	苓北町坂瀬川2594番地
荒木 康英	苓北町志岐72番地
黒瀬 勝一	苓北町富岡3191番地1
小崎 重輝	苓北町都呂々1734番地

選挙管理委員補充員

順位	氏 名	住 所
3番	田尻 幹雄	苓北町坂瀬川2906番地
4番	立山 清剛	苓北町志岐643番地2
2番	松野 茂	苓北町富岡3053番地
1番	小林美知夫	苓北町都呂々5126番地2

令和元年度一般会計補正予算(第5号)に伴う討論

原案に反対討論

石田議員

志岐集会所は現に雨漏りがひどいので、大規模改修は必要と思う。耐用年数が47年であるのにまだ17年しかたっていない。今まで雨漏りだけでも3700万円をかけ補修をしている。完成6年後の修理の際、ガルバリウム工法で修理するという考えがあり、町長もこの工法で雨漏りは止まるだろうとの答弁だったが、他の工法で修理をしている。なぜその時点で工法を変えたのか疑問が残る。今回の大改修については慎重に検討したとの答弁であったが、町民から見れば税金の無駄遣い以外のなにものでもない。見直しも含めてもっと慎重に十分な検討が必要と思う。

野崎議員

志岐集会所の雨漏り等に、これまで約3712万円もの血税が投入されている。しかし、設計者に対し瑕疵責任の追及を全く行っていない。

町として、設計者に何らかの責任追及を行うべきではないか。

また、これまでも幾度となく「最善の方法」として改修が行われて来たが、現在まで雨漏りは止まっていない。今回提案のガルバリウム鋼板での工法が本当に最善

の方法なのか充分検討すべきだと考え本予算に反対する。

松本議員

志岐集会所は47年の耐用年数のもと設計、施工されたが、完了翌年から雨漏りが激しく、各所に腐食箇所が見られ、大規模改修となった。

総額1億6千万円を超える巨額な予算が使われる事となる。

今回は、多額な予算が費やされるため、要因を精査し、慎重に取り組まなければならない。計画設計においても、過ちを二度と起こさないため、万全な体制で取り組む必要がある。又集会所は、4月以降各種団体の総会等で利用頻度が高く、雨期に入る為、外壁工事の施工や、品質管理にも良くないこのことから新年度の予算措置が望ましい。又、財政難の中、管理は町職員で出来る。委託料500万円は必要ない。

高戸議員

志岐集会所の大規模改修工事そのものは必要と思う。

しかし、再度工事内容の一つ一つを精査すべきと解する。国の予算委員会においても、防災・減災・国土強靱化対策の予算は、来年度も引き続き継続し確保する答弁がされていた。工期についても、ゆとりを持ちながら進めていく必要があると考える。

以上のことから、新年度で提出することが適当である。

原案に賛成討論

廣田議員

今回の補正予算には、苓北町の芸術・文化の拠点となる志岐集会所の施設としての劣化を食い止めるための予算が組み込まれている。一刻も早い予算の成立、事業の執行が望まれる。

野田議員

志岐集会所というのは、町民の利用頻度も高く、重要な施設だと思う。最も安く上がって、尚且つ早くできるのが、今回の補正予算案だと思ふ。

また、設計者の責任追及は、この補正予算とは関係なく進められることなので、今回の補正予算案に賛成する。

田嶋議員

浜口議員

1億2千204万円の巨額の投資を行うのであれば、これまで使用され、利用された方々や団体の皆さんのご意見を聞きこれらを反映させて、これまで雨漏り、音響、舞台の設置等を放置してきた反省に立った事業とすべき。

この様な事業の執行に当たっては、今後、少子高齢化の進行が顕著になると予測される中で、後世に負の資産を残す事のない適切な対応が求められる。よって、志岐集会所の大規模改修工事をメインとした、令和元年度 一般会計補正予算（第5号）には反対する。

先に開催された全員協議会においての議員から出された意見を最大限にくみ取った社会教育費などの補正予算となっている。不測の事態の際の防災の拠点のひとつでもある志岐集会所。一刻も早い予算の成立、事業の執行が望まれる。

山口議員

今回の一般会計補正予算案には、志岐集会所の雨漏り対策予算が計上されている。志岐集会所は町の顔であり、イベント開催中に雨漏りがあると対外的に町のイメージダウンとなる。施設の耐用年数も残り30余年あり、早急に抜本的な雨漏り対策工事を施工する必要がある。原案に賛成する。

倉田議員

志岐集会所は県アートポリス事業で、平成14年に完成し県産木材を活用した一部鉄筋コンクリート造りで、総工事費4億4千3百万円。当時、画期的な建物として評価され、「日本建築学会賞」等を受賞した。しかし、経過年数とともに建物の材質構造上等から雨漏りが生じ、建物の一部が腐食してきた。先の全員協議会でアートポリス事業の理念を尊重し現在の建物を残し、建物をすっぱり覆うようなことはできないか尋ねた。建物を覆うにしても、腐食部分の改修は必要で、2億5千万円ほどの改修費が必要とのことだった。総合的に鑑みて、この施設は重要であり原案に賛成する。

議案番号	事 件 名	結果
第25号	請負契約〔志岐集会所大規模改修工事〕の契約締結について	○

外壁等の傷みによる改修工事及び外構工事

契約金額110,550,000円

契約の相手方 苓北町志岐123番地 1
株式会社 カネマツ



志岐集会所【正面から】



志岐集会所【東側から】

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 議長（錦戸）は採決に加わらない）

議案番号	事 件 名	結果	表採決 賛成反対	山口	野田	廣田	高戸	松本	石田	浜口	野崎	山本	倉田	田嶋	錦戸
第10号	苓北町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	9：2	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	－
第24号	請負契約〔森林基幹道苓北天草線災害復旧工事（その1）〕の変更締結について	可決	10：1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	－
第25号	請負契約〔志岐集会所大規模改修工事〕の契約締結について	可決	8：3	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	－

（単位：千円）

議案番号	事 件 名	予 算 額	結果
第26号	令和２年度 一般会計予算	4,755,000	◎
第27号	令和２年度 坂瀬川財産区特別会計予算	7,938	◎
第28号	令和２年度 都呂々財産区特別会計予算	53,932	◎
第29号	令和２年度 国民健康保険特別会計予算	1,039,346	◎
第30号	令和２年度 介護保険特別会計予算	1,043,980	◎
第31号	令和２年度 後期高齢者医療特別会計予算	127,426	◎
第32号	令和２年度 水道特別会計予算	163,031	◎
第33号	令和２年度 下水道特別会計予算	413,592	◎
第34号	令和２年度 農業集落排水特別会計予算	17,196	◎
第35号	令和２年度 特定地域生活排水処理事業特別会計予算	47,222	◎
第36号	令和２年度 宅地造成事業特別会計予算	7,094	◎

予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会は、執行部の出席を求め、3月13日、16日、17日にかけて各会計予算（案）を費目毎に審査し、「原案可決すべきもの」として決定しました。なお、要望事項を下記のとおり提出しました。

- 1．一般会計
- 1）歳入について
- 納税方法が変更となるので、滞納がないよう努力されたい。
- 「ふるさとづくり寄附金」の増額に向けて返礼品の見直しなど含め努力されたい。
- 2）歳出について
- 「地域が輝く行政区活動補助金」については、地域住民に十分な説明をされたい。
- 企業誘致活動について、さらに努力されたい。
- 新型コロナウイルス感染症予防対策については、万全の体制で臨まれたい。
- 2．特別会計 なし

令和2年 第3回議会定例会

開催日：3月10日～3月18日

令和２年第３回定例会が、令和２年３月10日(火)から18日(水)の会期で開催されました。条例や令和元年度補正予算、令和２年度当初予算など34議案が提案されました。令和２年度一般会計及び特別会計予算については、予算審査特別委員長から報告がなされ、賛成多数で可決されました。

定例会議案等結果の表示について

◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決（賛否については次ページのとおり）

議案番号	事 件 名	結果
第３号	苓北町税特別措置条例の制定について	◎
第４号	苓北町区長設置条例の制定について	◎
第５号	苓北町坂瀬川財産区山林取締員の設置等に関する条例の制定について	◎
第６号	苓北町都呂々財産区山林取締員の設置等に関する条例の制定について	◎
第７号	苓北町森林環境譲与税基金条例の制定について	◎
第８号	苓北町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	◎
第９号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	◎
第10号	苓北町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○
第11号	苓北町空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例について	◎
第12号	苓北町保健推進員設置条例の一部を改正する条例について	◎
第13号	苓北町堆肥センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	◎
第14号	苓北町土地開発基金条例を廃止する条例について	◎
第15号	議案第１５号は欠番として取り扱う	－
第16号	苓北町テントハウス使用条例を廃止する条例について	◎

（単位：千円）

議案番号	事 件 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	備 考	結果
第17号	令和元年度 一般会計補正予算（第6号）	4,938,884	△29,027	4,909,857	文化財保護費の減他	◎
第18号	◇ 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	1,107,819	16,518	1,124,337	療養給付費の増他	◎
第19号	◇ 介護保険特別会計補正予算（第4号）	1,016,537	9,489	1,026,026	保険給付費の増他	◎
第20号	◇ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	115,156	971	116,127	広域連合納付金の増他	◎
第21号	◇ 水道特別会計補正予算（第3号）	203,328	－	203,328	項目の組替え	◎
第22号	◇ 下水道特別会計補正予算（第3号）	繰越明許費（18,000千円）			富岡浄化センター更新事業	◎
第23号	◇ 宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）	7,602	△7,093	509	土地売却収入の減	◎

議案番号	事 件 名	結果
第24号	請負契約〔森林基幹道苓北天草線災害復旧工事（その1）〕の変更締結について	○

変更理由 工事完了による数量確定に伴う契約変更

契約金額	当 初	127,440,000円	契約の相手方	苓北町都呂々916番地
	前々々回変更	8,257,744円		前川建設株式会社
	前々回変更	15,644,992円		
	前回変更	△3,420,200円		
	今回変更	△3,042,596円		
	合 計	144,879,940円		

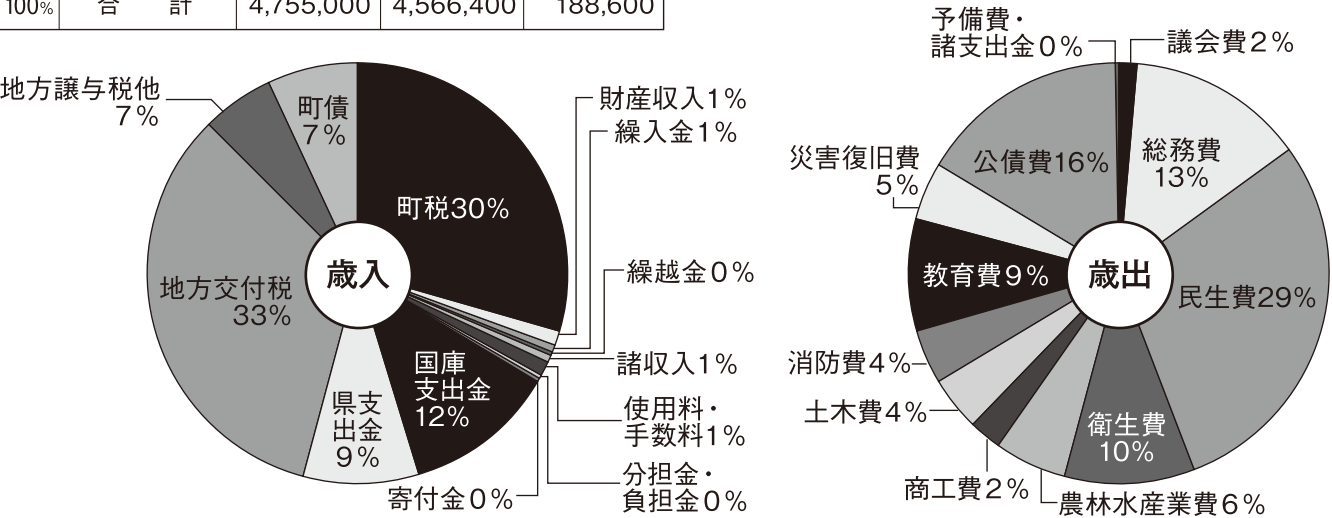
令和2年度一般会計・特別会計当初予算

可決

一般会計

歳入 (単位：千円)

項 目		令和2年度	平成31年度	比較増減
自主財源	町税	1,410,150	1,420,384	△10,234
	財産収入	47,968	44,883	3,085
	繰入金	25,520	179,770	△154,250
	繰越金	10,000	10,000	0
	諸収入	35,388	36,812	△1,424
	使用料・手数料	47,757	48,959	△1,202
	分担金・負担金	20,995	35,287	△14,292
	寄付金	5,601	5,601	0
33.7%				
依存財源	国庫支出金	561,082	417,147	143,935
	県支出金	414,137	367,457	46,680
	地方交付税	1,592,000	1,480,000	112,000
	地方譲与税他	256,502	232,900	23,602
66.3%	町債	327,900	287,200	40,700
100%	合 計	4,755,000	4,566,400	188,600



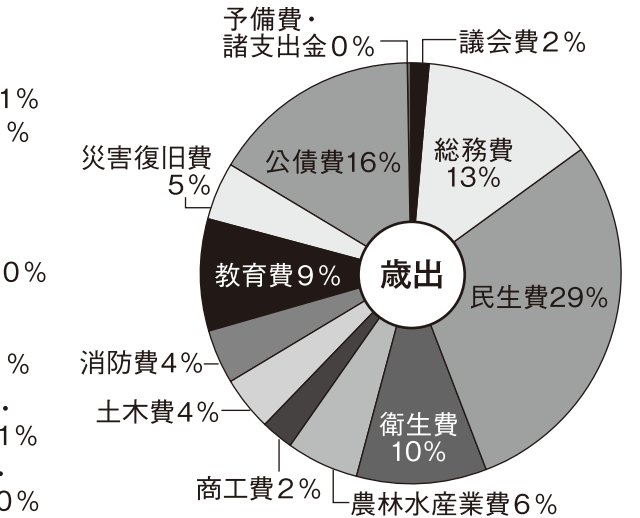
特別会計

(単位：千円)

項 目	令和2年度	平成31年度	比較増減
坂瀬川財産区	7,938	20,303	△12,365
都呂々財産区	53,932	51,710	2,222
国民健康保険	1,039,346	1,083,119	△43,773
介護保険	1,043,980	979,819	64,161
後期高齢者医療	127,426	113,080	14,346
水道	163,031	195,046	△32,015
下水道	413,592	397,341	16,251
農業集落排水	17,196	17,719	△523
特定地域排水	47,222	47,757	△535
宅地造成事業	7,094	7,094	0

歳出 (単位：千円)

項 目	令和2年度	平成31年度	比較増減
議会費	76,828	76,149	679
総務費	636,652	657,875	△21,223
民生費	1,393,684	1,395,896	△2,212
衛生費	471,391	500,785	△29,394
農林水産業費	274,088	258,366	15,722
商工費	114,658	125,751	△11,093
土木費	192,271	209,697	△17,426
消防費	196,976	212,474	△15,498
教育費	409,439	359,442	49,997
災害復旧費	216,638	161	216,477
公債費	763,025	759,403	3,622
予備費・諸支出金	9,350	10,401	△1,051
合 計	4,755,000	4,566,400	188,600



(注：数値は小数点以下、四捨五入で表示)

(参考) 積立基金の状況 (単位：千円)

項 目	令和2年度末見込
財政調整基金	674,123
減債基金	102,480
目的基金	122,088
基金合計	898,691

(参考) 町債残高の状況 (単位：千円)

項 目	令和2年度末見込
一般会計町債合計	6,897,258
特別会計町債合計	2,458,386
町債合計	9,355,644

繰越明許費 一般会計

款	項	事 業 名	金 額
2 総務費	1 総務管理費	グループウェア及び文書管理システム構築事業	5,500千円
6 商工費	1 商工費	まちづくり活動推進事業(社会資本整備総合交付金・都市再生整備計画事業)	5,717千円
7 土木費	2 道路橋梁費	町道改良事業(社会資本整備総合交付金事業)	11,922千円
〃	〃	町道改良事業(緊急防災・減災事業)	10,300千円
〃	〃	町道改良事業	3,500千円
〃	〃	橋梁維持事業(社会資本整備総合交付金事業)	14,500千円
9 教育費	2 小学校費	学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業(小学校)	18,787千円
〃	3 中学校費	学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業(中学校)	7,504千円
〃	4 社会教育費	歴史まちづくり事業(社会資本整備総合交付金事業・都市再生整備計画事業)	31,500千円
〃	〃	志岐集会所大規模改修事業(緊急防災・減災事業)	122,500千円
10 災害復旧費	2 公共土木施設災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業	9,000千円
合 計			240,730千円

繰越明許費 下水道特別会計

款	項	事 業 名	金 額
1 公共下水道事業費	2 下水道事業費	富岡浄化センター更新事業(社会資本整備総合交付金事業)	18,000千円
合 計			18,000千円

事故繰越し

款	項	事 業 名	金 額
10 災害復旧費	1 農林水産業施設災害復旧費	林道施設災害復旧事業	39,658千円
合 計			39,658千円

同意第1号

苓北町監査委員の選任について

同意

氏 名 登 本 玄 一

住 所 苓北町都呂々1055番地

任 期 令和2年4月1日～令和6年3月31日

陳情等文書の取り扱い

	件 名	提 出 者	取扱方法
R 元. 12. 6 陳情第11号	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情書	熊本市中央区神水1-20-15 熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 一二三美香	議員配布
R 元. 12. 6 陳情第12号	介護施設の人員配置基準の引き上げのため国に対し意見書の提出を求める陳情書	熊本市中央区神水1-20-15 熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 一二三美香	議員配布

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年第3回苓北町議会定例会においては、下記により取り扱うこととしました。

- 議場・傍聴席・委員会室でのマスクの着用を義務付ける。
なお、発言の際のみ、そのマスクを外せることとする。
- 今期の予算審査特別委員会の開催場所の容量から勘案し、その傍聴は中止の扱いとする。
- 議場・委員会室とも審議時間90分を目安に、適宜15分程度休憩し、その際換気に努める。

報酬及び費用弁償改正
(第10号)に伴う討論

浜口議員・原案に反対

「特別職で非常勤のもの」一覧表の随所に「有償ボランティア」という言葉がある。ボランティアはvolunteer、義勇兵の意。奉仕者。自ら進んで社会事業などに無償で参加する人。また、その無償の社会活動。という言葉の意味とは、全く違うのではない。有償という言葉が挿入されているだけで、崇高な気持ちで従事されているボランティア活動者の行為を侮辱した呼び名になっている。よって本案に反対する。

野田議員・原案に賛成

有償ボランティアという区分は、国、県が法改正の際に使用した区分であって、町条例の条文に書かれる訳ではないので、賛成する。

松本議員・原案に反対

私は野田議員の発言に対し疑義を生じたので反対の立場で意見を述べます。有償ボランティアの語源の発祥は、例えば、隣から木を切ってくれと仕事を頼まれた時「ちよつとだから良い」と言われた場合でも、手伝いを受けた側にしてみれば、「百円でも油代としてお返しをすると気が落ち着く」と言う事で、「いくらか、お金を出すようにしましょう」というのが有償ボランティアと言われるようになったと聞いている。そのような事が、曲がり回って法的に使われる事は、大変な事である。この「有償ボランティア」の言葉がこのような形で使われることに対し反対する。

請負契約変更(第24号)
に伴う討論

浜口議員・原案に反対

提案理由による地方自治法に違反し、既に現場へは変更に係る工事着手の指示が出され事業に着手されている現状がある。

法律に基づく事なく、議会の議決を得ずに、変更契約分を施工した事は、単に議会無視だけでは無く、この一連の行為は、議会無視イコール町民無視で町の行政を執行した本件に対し、町民の代表である議会はこの事を無視することは出来ない。

山口議員・原案に賛成

今回の変更契約は、工事完了に伴う設計数量の精算による請負金額の変更であり、事務処理上も法的に何ら問題はないので原案に賛成する。

請負契約締結(第25号)
に伴う討論

浜口議員・原案に反対

管理者である教育委員会は、現状に至るまでこの状況を放置してきた。また、イベントごとにステージに仮設舞台を作っている。1億1千万円の高額請負工事なら、利用者の意見を出来るだけ反映させないと、手戻りしなければならぬ事態も出てくる恐れがある。

この様な事から雨漏り補修だけでなく、利用者の意見が反映された町民の憩いの場としての改修工事にすべき。よって反対する。

廣田議員・原案に賛成

不測の事態の際の防災の拠点のひとつでもある志岐集会所。早急な改修工事が望まれる。

また、志岐小学校が近接していることもあり、特に児童の安全対策にも万全を期していただくことを重ねて求める。

田嶋議員・原案に賛成

苓北町の芸術・文化の拠点となる志岐集会所。改修工事に、すみやかに着工していただきたい。このひとことに、尽きる。

松本議員・原案に反対

この工事はこれまで、幾度となく修理が行われ町民の血税が惜しげもなく使われている。早くしなければと言う問題ではない。充分検討され、新年度での予算計上を

望む。急いだ事によりこれまで通り雨漏り、破損した場合は、町民に再度迷惑を掛ける。又、設計では芝生をアスファルト舗装に変更となっている。排水対策に不備を来たし、馬場地区一帯水に浸かったら、防災の云々ではない。学校からは大量の水も流れてくる。その様な事を充分加味した上で計画をしなければならぬ。(株)カネマツが落札された事には何ら問題は無い。

再度設計を見直して頂きたい。

山口議員・原案に賛成

志岐集会所の雨漏り工事は早急に実施する必要がある。請負契約の締結にあたっての事務手続きにも問題はないので原案に賛成する。なお、工事の施工にあたっては二度と雨漏りが発生しないよう、町、施工監理者、請負者と十分連携をとりながら進めていただきたい。

一般質問

10議員登壇

小中学校体育館にエアコン設置を
「ヒオウギ貝のアーヒージョ」をふるさと納税
の返礼品にどうか
「海にうかぶ博物館あまくさ」をどのよう
に展開していくのか



廣田 幸英 議員

問 苓北町は、熱中症対策の一環で、町内の小中学校の普通教室でのエアコン整備が令和元年5月末において完了している。今後は、生徒の日常の利用頻度が高い特別教室でも整備を進められるとともに、災害発生時に備えて、苓北町があらかじめ指定する避難場所となる町内の小中学校の体育館にも冷暖房を設置する必要があるのではないか。と考えるがいかがか。

町長 小中学校の体育館のエアコン設置については、財政的な問題も含め、子どもたちの健康を考慮し、検討して参りたい。

町 町のふるさと納税の返礼品として加えるべきと考えるがいかがか。

町長 当該商品は、保存期間が、製造してから1週間しかないもので、ふるさと寄附金の返礼品として登録は難しいようだ。あくまで、実習としての製造となるわけだが、地元高校生の頑張りとして、消費期限が3年の鯖やキビナゴの缶詰等について、検討して参りたい。

問 「日本ジオパーク」の認定を返上する天草ジオパーク推進協議会は、後継活動として令和2年度から「海にうかぶ博物館あまくさ」を展開していくと聞き及んでいる。三つの海に囲まれるなど恵まれた自然資源と、海や陸での様々な体験活動などを通じ、自然の仕組みを理解し、後世に残していく活動を展開するとある。今後の活動の青写真などあればご紹介いただきたい。

町長 これまで行ってきた活動の資産を活かして、天草の自然資源を活用した天草独自の活動や教育を行って参りたい。

1、ふるさと納税寄付金の現状と今後の対策は？
2、苓北町誘致企業について
来年3月に生産停止される(株)キューアサ従業員に対する町の対応は？



野崎 幸洋 議員

問 令和元年度、苓北町の「ふるさと納税寄付金」は県下でワースト2位であった。その結果を踏まえ今後の町の対応策について問う。

①ふるさと納税寄付金へのPRの仕方・方法(仲介サイトの数)は？
②返礼品の品数(赤牛・馬刺し)は増えたのか？
③寄付金の受付はどのような方法で行っているのか？

町長 ①返礼品を25種から60種に増やし、また、有料ポータルサイト(楽天)を追加してクレジットカード決済の導入と業務一括代行を行っている。パンフレットも刷新しPRを行っている。

②「赤牛」「馬刺し」については現在、追加に向け準備を進めている。

③今年度から一括代行委託としており、92・7%が有料ポータルサイトである。決済については、クレジットカード決済が67・8%となっている。

問 令和3年3月末で、町の誘致企業(株)キューアサが生産停止、事実上の工場閉鎖と聞いている。昭和45年から50年間、多くの雇用によって町の活性化に貢献されてきた企業に対し心から感謝します。



(株)キューアサ

そこで、
①約130名の従業員に対し町として、再就職先への相談や雇用受け入れ先の企業への働きかけなどはされているのか？
②工場閉鎖後は更地に戻すとの事であるが、他企業からの進出予定等、具体的な話は上がっていないのか？
③企業誘致について現在どのような企業との交渉、誘致活動をしているのか？

町長 ①再就職先の選定については会社側から本年10月以降に公的支援を含め再就職斡旋がなされ、決まらない方に対し、町もお手伝いをさせて頂きたい旨を会社へお伝えしている。

②現時点で他企業からの進出の話は上がっていない。

③マグロ養殖会社の他にも誘致活動を行っているが、現在のところ進出には至っていない。今後引き続き誘致活動を行っていききたい。

町づくりについて



田嶋 豊昭
議員

問 人口減少、過疎化が進む荅北町。

5年後、10年後はどうなるのかと最近若い人たちから聞くことが多い。

天草市では「空き家バンク」導入が進み、移住後の生活支援にも気を配り、第一次産業従事、起業など補助金で後押し、相談体制を整えているようだ。

さて、私の荅北町への要望となる。

○観光に関して

富岡城をメインに、富岡港付近を荅北道の駅を開設し、加工品、特産品の販売、オルレの呼びかけ、歴史資料館の展示物の充実に力を注いでいただきたい。

町長 道の駅については、その設置要件を満たすべく検討して参りたい。併せて富岡城を観光の核施設として工夫を凝らした催しを企画、交流人口の拡大を図って参りたい。

問

○働く場所の確保に関して
荅北町は、福祉の町として力を入れておられ、近隣の天草市からの通勤も多いのではないか。そのような人たちに空き家等を活用し、荅北町に住んでもらい、人口

減少に歯止めを掛けてほしい。

農業の方では、高齢化で、田畑も空き地が多くなっている。適地適産で良い物を作り、販売している方もおられる。これからは耕作放棄地が多くなると思われる。多くの人たちが利用できるような配慮をお願いしたい。

漁業の方では養殖業のヒオウギ貝、岩カキ等、人気商品を拡大、就業員安定確保につなげてもらいたい。

町長

地域農業の近い将来抱えるであろう危機を認識・共有しながら引き続き農業の振興に努めて参りたい。

問

○少子化対策について
高校生の医療費が近隣の天草市では無料で、荅北町では前年度非課税世帯に属する高校生以外は有料となっていると聞いている。少子化対策の一環で、荅北町でも高校生全員無料にしたらいと思うが、いかがか。

町長 現状のまま、しばらく様子を見させていただきたい。

①新型コロナウイルス対策について ②荅北町堆肥センターの管理運営について



山口 利生
議員

問① 新型コロナウイルスの国内感染者数が、3月7日時点で1,156人に上り、熊本県内でも6人の感染者が確認されている。政府は、新型コロナウイルスの感染が国内で拡大する事態に備え、小中、高校並びに支援学校の一斉休校を地方自治体に要請し、全国での異例の休校措置で学校現場や保護者等も含め大変な混乱が生じている。感染予防のマスクは、約7割を輸入している中国がマスク輸出を禁止したため全国的に品切れ状態になり、マスクを買えず困っている町民が多数おられる。今後の町のマスク確保対策を問う。

町長 町の備蓄マスクは3月9日現在7,500枚ある。天草管内で感染者が確認された場合は、荅北町マスクの備蓄及び使用に関する基準によりマスクを確保できない町民の方に枚数を限定して配布できることとしている。

問② 荅北町堆肥センターは、総事業費5億1千万円余（うち町の負担2億6千万円余）で建設したが、平成14年度の供用開始から多額の赤字が発生し、平成30年度までの累積赤字は4億6千3百万円余となっている。牛糞の収集量は、平成18年度に畜産農家55戸から約

4千トンあったのが、平成30年度は畜産農家21戸から千3百トンと大幅に減少し、堆肥生産量も、約2千3百トンから756トンに減少している。

赤字解消策として、レタス農家やミカン農家の皆様が主に使用する普通堆肥に一本化することで、下水道汚泥の全量を堆肥化し大幅な収入増を図るべきと思うが町の考えを問う。

町長 施設の運営に、毎年2千万円程度の一般財源を充当しているが、一番の課題を解決する方策として、牛糞等回収料及び牛糞等処理料を無料化する条例改正案を本議会に提案している。普通堆肥に比べ3倍以上の売り上げがある牛糞のみの特殊堆肥の生産を止めることは、これまでの消費者との付き合いを台無しにすることになり、普通堆肥一本に絞った生産は考えていない。

再問 平成30年度販売金額は、特別堆肥が286万円、普通堆肥が87万円であるが、普通堆肥は下水道汚泥処理費収入があり、合わせると約400万円となる。また、下水道汚泥処理費として福岡市の業者に483万円の支出もあり、その分も町の負担軽減となるので再考すべきと考える。

①富岡城大手門内側の埋め立て箇所の、町長の所有地に伴う町長の見解について
②災害避難警戒に伴う「自主避難注意報」の対応について
③災害対策本部の設置について
④仮称「自主福祉ヘルパークラブ」の設立要請等について
⑤新年度予算の対応について



松本 良人
議員

問① 前回の一般質問（城下町としての景観保持）で、富岡小学校と大手門堀との間の農地埋め立てについて質問した。町長の答弁は「農地の形状変更等は適切に処理され問題ない。」と質問内容とはほど遠い回答であったが、町民から「この地には町長の畑もあった。町長はどう思われ埋め立てされたのか知りたい」と言うご意見があった。ご指摘どおりこの地に町長の土地があったなら、町長の見解を問う。

（理解が得られる明確な回答なし）

問② 災害避難警戒に伴う対応は的確に行われているか

①避難所の選定方法
②高齢者世帯、一人世帯等弱者への対応
③避難所でのアフターケア等
④避難所での対応
⑤避難所までの、交通手段

再質

警戒発令当日町有バスは運休であった（天草一円産交バス運休なし）。代替え交通手段はあったか？

問③

地震、津波、大規模火災等重大な災害が発生した場合の対策本部設置の手順は、又、本部長は町長である。町長不在が多いが？

問④

高齢世帯、独居、一人親世帯

①農協への「農業振興補助金」増額を ②「森林環境譲与税」配分見直し国へ要望は



倉田 明
議員

問 令和元年度は荅北特産のレタス販売価格が低迷し、売上は昨年同様4億7千700万円ほどをJA荅北は予想されている。荅北町は国の「指定野菜価格安定対策事業」の指定を受け50年になるが、冬レタスにおいて、平均販売価格（保証基準額）を下回った場合、保証基準額と平均販売価格の差額が補填される。安値でも制度上出荷しなければ補給金交付はないが、出荷で更にダブつき安値で資源の無駄になる。平均販売価格が、ある一定基準に達すれば圃場確認を行い、圃場廃棄でも補給金交付対象になるよう、関係各機関で検討を頂きたい。また、圃場廃棄の場合、生分解マルチはそのまま耕すことができ、廃プラスチック削減、労力軽減へ37%と増えつつあるが、黒マルチより価格が高い。元年度、町は農協に「農業振興補助金」285万円を交付（8事業）。この中から生分解マルチ補助に143万円配分されている。この補助金も年々減少し、新年度も11万円ほど減少している。かつて九州上位のレタス産地であった荅北町。町も「農業振興補助金」を、倍くらい予算を付ける意気込みが欲しい。

町長 生分解マルチの導入は、平成16年度から補助項目の一つであり、別途補助金として農業マルチなど廃プラスチック処理費用高騰から、元年度は168万4千円（当初予算78万4千円）予算措置している。「野菜価格安定対策事業」における補助金交付対象にならない圃場廃棄されたレタスの取扱いは、今後、町農協等関係機関とも協議し、対応策を検討したい。

問 平成31年8月「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、本町は、令和元年度歳入予算に250万円計上された。配分基準は、5割を私有人工林面積、3割を人口、2割を林業就業者数だが、人口の多い都市部ほど配分額が多く、森林が多くても人口が少ない自治体は低額のようだ。一方、その財源は、令和6年度からの「森林環境税」（国税）として、一人あたり千円を市町村が徴収（住民税に上乗せ）することとなる。税の目的から現在の配分基準に疑問を感じる。町は、国に特段の要望をする考えはないか。

町長 税の目的から本町は次年度予算で「統合型GISシステムの整備」及び「センダンの植栽・管理」などへの充当を計画。今後、県町村会等において、意見の一致が見られるのであれば、各自治体と連携して要望書の提出を検討したい。

① 安心して暮らせるまちづくり
② 国民健康保険の健全化
③ 会計年度任用職員及び地域包括支援センター業務委託の対応は



高戸 幸雄 議員

問① 自然災害発生時において、東日本大震災以降、住民の生命を守るべく早期の避難勧告などを発令する自治体が増えており、これに伴う費用の負担が発生し財政悪化の要因となる。この補完として「全国町村会災害対策費用保険」の加入が急増しているとあるが、現在までの本町の取り組みは如何か。
町長 本町は、平成30年度から、本制度に加入している。支払い対象は、避難所の設置及び、救助のための輸送費、職員の時間外手当等である。今後も、住民の生命と財産を守るため、災害が発生する恐れがある場合は、「空振り」を恐れずに、自主避難・避難勧告等を発令するように努める。

問② 先月、熊本県から、令和2年度の県下全市町村の標準国保料が公表された。伸び率が上限を超えた市町村については、激変緩和措置を適用するとある。本町は、現在どのような状況下に置かれているか。本町が適用自治体とするならば、どのような支援措置がされる予定か。介護保険料算定時、財源が不足した折は、町費における財政支援を行うとの回答を得た、国保の被保険者と介護保険の被保険者の違いについての理解はするが、国保に対する一般会計からの

法定外繰出については、今後どのような態度で臨まれるか。
町長 苓北町は、激変緩和支援措置の対象に該当している。国保連合会に対する納付金の金額を抑える支援を受けている。法定外繰出については、制度利用者負担の原則、税負担の公平性、国保財政の健全化の観点から実施する考えはない。

問③ 会計年度任用職員の仕事内容及び報酬額について隣接自治体の把握をされたか、本制度採用に当たり国に対し財政支援を求めることあるが、その後の進展は。地域包括支援センターの社会福祉協議会に対する業務委託において、委託期間と雇用等で先の説明内容と相違があるのでは、また同じ事業所で働く仲間がそれぞれ違う場で働くことに違和感を持つが如何か。
町長 会計年度任用職員に対する隣接自治体との仕事内容の把握については、行っていない。報酬等については情報交換を行っている。国からの財政支援については、交付税措置が行われる。地域包括支援センター業務委託については、毎年度更新の方法で検討を行う。同一職場での業務についても最も効率的でかつ連携がとりやすい方法の検討を続けていく。

1 高齢化にともなう難聴者の補聴器購入に
2 対し町の助成を
3 立合わせるべきでは
4 町の誘致企業であるエ「アッシュ」について



石田みどり 議員

問① 聴力が70デシベル以上重度の難聴者は、障害者手帳を受領の人のみ、補聴器購入時に補助があるが、他の難聴者には適用されない。20デシベルが正常値である。高齢化に伴い65歳以上の6割が難聴者との推計もある。難聴になると家族や友人との会話も少なくなり、会合への出席や外出の機会も減り、社会的孤立引きこもり、認知症へのリスクも高くなる。WHOも難聴が41デシベル以上の人への補聴器を推奨している。補聴器を使用しない理由は価格が高いというのが一番で、日常生活の質の向上をはかるうえで早くから使用するのが重要であると言われている。聴こえのバリアフリーをサポートするため町として購入時に助成を考えて欲しい。

町長 苓北町で65歳以上の身体障害者手帳を所持し補助している人は、平成29年度が4人、30年度5人、令和元年度が6人。補聴器購入助成の対象にならない人については、日常生活への支障程度やその基準などを調査したうえで、今後の対応を考えていきたい。

問② 県選管の指定を受け老人ホームなどの不在者投票ができるが、第三者の外部立会をしていない施設が多いとの報道がある。公選法では外部立会人を立合わせることが努力義務だとしているが、苓北町では何ヶ所指定を受け外部立会をしているのか。

町長 苓北町での指定施設や病院は11施設ある。昨年の参院選では9施設が投票を行っているが職員だけとなっている。県選管から町選管への通知で、外部立会人を立合わせるよう周知するようにとのことである。

問③ 何ヶ月も操業をストップしているが、町の誘致企業であるので、どうなっているのか。3月5日付の新聞によると廃棄物処理法違反で県が30日間の事業停止処分にしたとの報道があった。町は知りえる立場にあると思う。現状と今後について問う。

町長 現状については産業廃棄物処分業の許可を受け事業を行ってきたが、昨年10月の許可更新に当たって、許可条件の一部が遵守されていまいというところで許可更新ができないうままだったが、3月4日付で県から30日間の廃棄物処分業務の一部停止の通知が出された。今後も従前の事業が継続できると聞いている。

一 安全安心のまちづくり
(一) 苓北町の行政執行の有り様
1 請負契約の変更
2 復旧工事請負契約の変更の上程は適正か。



浜口 雅英 議員

問① 西川地付近の、海岸線の消波ブロックの高さはバラバラ。西川橋の護岸は地盤がむき出し。当該箇所は防犯灯が不足。国道324号建設前の旧護岸の一部が集落の通路として利用されている。住民の日常生活の安全を守るべき。
問② 河口の堆積土砂の取除きは当然。土砂堆積防止の恒久的施設の設置を。越波対策も遅々として進まない。
問③ 浜の町海岸の手摺が破損したまま。この道路へ防犯街灯の必要性を訴えて来たが今後もそのままだ。紺屋町海岸道路を潜ることになる津波一時避難所の排水溝は非常に重要な施設。排水手段は従前と同じ人力か。
問④ 志岐漁港海岸道路は富岡東目線と連結されるがこの交差点の形状は。行者の滝公園手摺は腐食。農村運動広場は水はけが良くない。
問⑤ 白木尾、内田海岸一帯の護岸防波堤の高さは同じ高さにすべき。
問⑥ 年柄川河口左岸は大きく洗掘。背後には国道集落も存在。何らかの対応を。曲崎先端の護岸が破損して

いる。防潮保安林の機能を損なう。富岡西海岸の松の木落ち葉の処理に住民の方は苦慮。東海岸の現場では住民の悩みも解決すべき。東海岸では町道路面排水処理が十分。西海岸では海岸への降り口から砂が道路人家に舞い込んでいます。四季咲岬公園展望所通路も通行止。
問⑦ 富岡城駐車場の案内板は説明不足。首塚には広大な駐車場を造成されたが何の表示もない。
問⑧ 都呂々川河口浚渫の必要性は。国道、県道、町道の側溝蓋鳴りは。
問⑨ 産交バスの運行路線は大幅な減少だが天草市の高校への通学生は重要で貴重な通学手段。停留所設備の一部を除いて表示板だけ。風雨をしのぎ安全で適切な停留所とし通学者保護者に配慮すべき。
二 いきいきと暮らせる町
(一) 人口減少対策
問⑩ 産業の振興等地方創生の基盤を作る為人口減少に歯止めをかける必要がある。学園都市構想、学校給食無償化等を提起して来たが、何の検討もなされていない。今、何か具体的対策をとらなければ限界集落以上の消滅自治体になりかねない。町長は勿論、我々議会も町民も町の振興の為に頑張らなければならぬ。この事への妙案

仮題としての「苓北町復興計画」を作ってみたが、その感想を聞く



野田 謙二 議員

問 苓北町施行計画「ふるさと未来プラン」を見てみたが、私には輝かしい未来とは感じられなかった。それは町議会議員の立場で、少子高齢化の課題が見えてくるからだと思う。そこで、私が独自に苓北町復興計画を作成してみた。その感想を聞きたい。

まずは、二、三百人収容の大規模ホテルに参入してもらう。苓北町旅館組合ではホテルの新規加入には反対とのを聞いたことがある。しかし、これからはサービス業を主力産業としていくプランにする。顧客の募集は、そのホテル自ら出来るというホテルに来ていただく、というものだ。

これにより、全国への情報発信が未熟だと言われる苓北町役場にも勉強していただき、既存の旅館、ホテルにも相互に顧客融通出来るようになる計画となる。

また、来ていただくホテルには、観光ホテルではなく、都市型のシティホテルとして来ていただくことを条件とする。

シティホテルとは、宿泊顧客へのだけのサービスではなく、結婚式、各種会議等のイベント等も行

それにより、苓北町の既存の各産業とも、良い意味で競争し、町民にはサービス業の考え方を取り入れ、苓北町を、サービス業主導の地方都市型産業形態を目指す、というものだ。

町長 以前、大手旅行代理店関係者に問い合わせたことがある。多くの旅行者を呼び込む場合、今の時代の観光旅行者は、一本のルートでは満足しないようだ。五橋を渡って来て、長崎へ船で帰る、また、その逆ルートを通る等の案内が必要だ。また、多くの旅行者を呼ぶには、それに加えて、大型の宿泊施設が必要だ。私も大型ホテルの誘致をしても、当町の既存の旅館ホテルとも共存できる、とは思っている。ただ、今の時点で、簡単な返事はできない。

議員の意見も参考にさせていた

再問 私の考えは、サービス業の「顧客中心主義」という理念を広く苓北町民に知ってもらうことだ。そして、誘致するホテルは、その象徴として考えたものだ。役場執行部にそこを理解していただければ、この質問への回答は結構だ。